

練馬区小中一貫教育資料作成委員会（第15回）「表現力の育成」部会 要点録

開催日時	平成22年10月7日(木) 午後4時20分～午後5時45分	
会場	練馬区役所本庁舎11階 1102会議室	
出席者	委員	村松賢一、苅部一夫、当間一則、山口義一、加藤芳和、武井和幸、井上康子、武者裕子、三浦秀樹、根本喜代江（敬称略）
	その他	教育出版
	事務局	谷川拓也 指導主事

事務局

一名若干遅れるとの連絡をいただいている。では部長の方からご挨拶願いたい。

部長

お忙しい中を集まっていたき、ありがとうございます。今日の会が終わればほぼ完成というところだが、最終の確認作業があるかもしれないので、よろしく願いたい。次にアドバイザーから一言。

アドバイザー

さっそく始めましょう。

事務局

皆さんからいただいたデータについて、私の方で形を整え文言を少し変えさせていただいたものもあるので、そのあたりをご確認いただきたい。

まず一枚目の「しつもんする」だがワークシートの引用部分は出版社から流用を認めないとの回答があり、どのような形で載せればいいのかを検討したいと思う。

部長

著作権処理については慎重に願いたい。図の入った部分は元々の出版物のレイアウトと同じなのか。

委員

はい。

事務局

ではオリジナルのものを考えていくことになると思うので、少し時間をいただきたい。著作権ではもう1件「ドラムジカ」に詩を載せるというのがあったが、こちらも処理が難しいということで参照という形での紹介のみとしたい。その他の歌詞については著作権処理のうえ掲載させていただきたいと思う。

委員

よろしく申し上げます。

事務局

それから「職業調べ」にワークシート礼状というのがあるが、こちら出版物からのものということで著作権が絡んでくると思う。次の一枚は私の方で各都道府県がキャリア教育の際に資料として出している礼状の書き方を参考に作ってきた。これについては著作権が絡まないで、こちらを資料として活用していきたいと思う。ただ絶対に外してはいけない文言等もあると思うので、その点は担当委員と調整させていただく。

部長

休日返上のお仕事、ありがとうございました。今日の仕事としては1から資料を検討するのは難しいと思うので、自身や他の原稿を見ていただき気がついたことがあれば自由に意見を出していただきたい。

事務局

お願いしたいことが2点ある。1/2成人式と職場体験は「表現力」「心の教育」「キャリア教育」の三部会で取り上げている。切り口は全然違うもの子どもたちの混乱を避けるために一つにまとめていかなければならないだろうということになった。1/2成人式は流れについては一つにまとめ、各部会の切り口ごとにそれぞれを紹介していくという形に事務局の方で調整させていただく。職場体験については他部会の原稿がまだ固まっていないので、それらがそろってから調整していきたいというのが1点目。

2点目は1/2成人式のようにやり方がある程度固まっているもので、ある1時間の指導案を載せても意味がないのではということ。逆に指導案がないもので、「主張大会をしよう」の4時間目などは、30人が1時間で全員発表するのは難しく、グループ分けしたり司会を決めたりといった工夫が必要になり、指導案があったほうが分かりやすくなると思う。指導計画の中で扱いづらそうな時間に関して、ここは指導案があったほうがいいのではという意見があれば、その分の作成をお願いしたい。

部長

今の説明で特に質問はないか。では指導計画の流れの中でこの1時間は指導案があったほうが分かりやすいとか、指導案はあるがちょっと分かりづらいといったところをご指摘いただきたい。1年生の「しつもんする」から始めたいが。

事務局

これは1時間扱いなので、ワークシートを工夫するだけでいい。

部長

では「自己紹介をしよう」。委員から何かコメントはあるか。

委員

本時案を入れるとすれば名刺交換会の活動のところがよいか。自己紹介の例文や具体例なども載せられると思うが。

部長

指導者がイメージできるような、対話の例のようなものもあるといいと思う。次に「練馬大根博士になろう」はどうか。ずいぶん分かりやすくなったが、イメージ写真があればもっという。これについては本時の指導計画はなくても大丈夫か。

事務局

この事例はいらないと思う。練馬大根についてまとめた新聞などがあれば分かりやすいが。

委員

3年生が観察に行っていたので、写真があるかどうか聞いてみる。

部長

「ドラムジカ」についてはどうか。イメージしやすくなっているが、担当委員からのコメントはあるか。

委員

ドラムジカがこんなものという説明を入れたので、さらに本時案をつけるとしつこくなると思う。

部長

入れてしまうとその通りにしなければならぬ感じになると思うので、いらぬことにする。

事務局

指導計画の中に評価の観点は入れていただきたい。

部長

それでは「1／2成人式」について。

委員

ここにある資料は電子データのものだけだが、ワークシートや手書きの資料は事務局にお届けしてあるので、三部会でどのように調整するかはお任せしたい。

部長

この事例は三つの部会で取り扱い、表現力の切り口はこのようになるということだが、この点について意見はあるか。なければ「下級生が楽しめる『お話し会』をしよう」。

委員

学級活動で5時間扱いは無理だということで、どこが国語でどこが学級活動扱いかが分かるように変えただけで、あとは前回と同じだ。

部長

写真や司会の台本が入り、授業の流れをイメージしやすくなった。続いて「夏休み体験発表会を開こう」についてはどうか。

委員

本事例が小中一貫教育校で期待される効果を加えただけで、あとは変わっていない。

部長

これは本時の指導案が入っているのでいいと思う。次に「身近な人々の暮らし」に行く。

委員

こちらにも本時案が入っていないのだが、入れるとすれば7時間目かと思う。

部長

7時間目だとしたら指導案でなく発表会に必要な要素の資料、絵や図などでもいいかもしれない。あるいは教師が働きかけをしなければいけないところを集めたようなもの。もうひと頑張りお願いしたい。次の「環境から学ぶ」はどうか。

委員

こちらにも抜けている評価を入れる。それとドラムジカに関して第4学年の何ページを参照という形で入れたいと思う。詩については載せないほうがいいのか。

事務局

作品名と作者名だけを載せる形になる。

部長

このページをいきなり開けた人のために、ドラムジカに関してはこのページに説明があるというのを目立つように書いておいた方がいいと思う。次に「モード・チェンジ」だがこれも1時間扱いか。

委員

発表を入れると2時間で本時は第1時だ。

事務局

指導上の留意点に評価をつけていただければと思う。

委員

分かりました。

部長

では次に「職業調べ」だが、担当委員からコメントはあるか。

委員

これは活動内容を見ると大体分かるので、本時案は必要ないかと思うがどうか。

事務局

第7学年の事例なので、いま小学校籍の教員が指導することもある。選択する職業の幅を広げるためには、いろいろな観点で分けた業種を例示しておいた方が小学校籍の人にはすごく助かるのではないかと思う。去年の研究授業では本当に身近なコンビニやスーパーやレストランばかりで、なかなか広がらなかったという例がある。

委員

中学校だと親に聞くのが楽なので、それで結構広がった。業種を分けるにしても結構いろいろあるのが、自分で考えてはだめなのか。

部長

事務局が心配しているのは町に出て行って、町の中の店や建物から職業を調べると狭くなってしまうということではないか。

事務局

身近な地域でインタビュー可能な職業を決定するのであれば、皆が思いつくのは近所の店くらいしかなくなるのではと感じた。

委員

細かいことは地域に合ったものを指導者が考えないか。

部長

最終的には指導者が決めていいが、中学校の先生が実践してきた中で得ている指導のポイント、こういう点に注意した方がいいですみたいなことを書いてもらえると助かる。

委員

分かりました。あと業種の例示があれば子どもたちが探しやすいということか。

部長

その点について加筆していただければと思う。次の「職場体験・事前訪問準備」には資料が詳しく載っているが、学校で既に使っているものか。

委員

事前訪問の前にオリエンテーションのような感じで実際に使ったものだ。この事例は1時間扱いなので、見ていただければ分かると思う。

委員

ロールプレイも入っていて1時間では厳しいと思うが。

委員

しつこくやったらできない。電話もまあまあで練習させる。

部長

事前準備はどここの学校でも当然やっていると思うが、子どもの指導に実際何時間くらいかけているのか。

委員

実際のところ1時間では難しいかもしれない。

部長

全体の説明みたいなことをして、それとは別にこういうロールプレイを皆で一度やってみるという流れか。

委員

実際には本時の前にもう1時間全体指導がある。指導案的には質問内容を班で考えるというのがあれば重みが出ると思入れているが、事前に考えている状態なので、簡単に確認させすぐにロールプレイングに入る。これを見てうまい具合にやってくれないかと思うが、そういう考え方ではだめか。

委員

せっかくやるなら丁寧にしなければと思う。ロールプレイは子どもたちの自主的な活動場面で、結構乗るところだ。実際見たり、自分でやったりすることで、知識ではないところから学び、身についていくのではと感じる。事前に全体集会をするのであれば、次の時間にすぐロールプレイできるような体制作りをしておけばいいのではないか。

委員

最初の事前訪問の理解を1時間にして、次は簡単に理解してロールプレイに入るような形でよければ作る。

部長

ロールプレイを始めたら、お互い情報交換をしながら、いまはこういうふうにしたほうがいいなど、やりとりができるゆとりがあればいいかなと思う。では次に「自己表出」。

委員

この形にしたのは初めてだが、皆さんと同じ流れに沿って書いてみた。評価表とスピーチメモは実際に本校の国語科の教員が使っていたものをアレンジしてみたが、ご指導いただき手直ししていければと思う。

部長

題材名が「自己表出」だと子どもに分かりにくい。私のメモでは「人に自分を知ってもらおう」となっていたので、「何々しよう」といった雰囲気の違いの分かりやすいネーミングにしていきたい。それと5時間目の合同朝礼の場の設定は教室でというイメージか。

委員

体育館のイメージだ。

部長

ならば体育館の図があると分かりやすい。この授業は代表が発表するが、前の時間には班内で全員が発表するので、そのあたりをはっきりと分かるように書いてもらいたい。

アドバイザー

スピーチの目的だが、9年生が6年生に向かって話すということでしょうか。

委員

6年生もやり、双方になる。

アドバイザー

1ページ目で「下級生に聞いてもらう場を設定する」と9年生の立場から書かれているので、6年生に限らず下級生の子どもたちにメッセージを送る場にしてはどうか。交流会として6年生もということになると、せつかくの場の性格が曖昧になる気がするが。

委員

分かりました。

部長

次に「主張大会をしよう」だが、先ほど事務局から話があったように、第4時間目の本時の指導案を書き加えていただきたい。

委員

分かりました。

部長

ワークシートはこのまま使ってもらえるように CD-ROM に入っていると非常に便利だと思

う。では「読書の推進と読後の表現活動」に移る。こちらはⅠ期からⅢ期にわたっての活動という視点で書いてもらっている。読書の時間の設定も学校によってそれぞれ工夫してもらい、特にこうでなければいけないという書き方はしていない。資料編の方には写真も入っているが、うちの学校の子どもたちが作った読書の帯や紹介カードの写真も何枚か撮っておいた。

委員

間に合わせでやってしまい、小さくてほとんど見えない写真なので、使わせてもらいたい。

部長

この他にも読書活動の取り組みとしていい実践があれば、付け加えていけるといいかと思うので、情報があればお知らせいただきたい。最後に副部長からお願いしたい。

委員

最初はディベートという大げさな形だったが、皆さんからご指摘いただき、5年生の情報モラル講習に絡めて「小学生に携帯電話は必要か」というテーマで作り変えてみた。

部長

情報モラルに絡めるのは一例として作ってもらったが、もちろんそれだけではなく、「朝食はご飯かパンか」といった例も書いてもらっている。うちの5年生も先日授業でやっていたが、その時の指導案やテーマがあれば事務局に送り、使えるものを加えていただきたいと思う。一応これで一通り終了したが、いまの意見を基に誤字・脱字を含めて一字一句追っていただき、気がついたことがあればお知らせいただきたい。また写真や追加する資料などがあれば事務局へ直接送っていただきたい。

委員

いつまでに送ればよいか。

事務局

10月29日までには形にしたいと思っているので、23、24日で作業するために22日までにいただけるとありがたい。おそらくもう集まることはできないと思うので、ある程度こちらに任せていただきたい。25日くらいまでに部長とアドバイザーには原稿を送り、よければ11月中頃に桜小中に実際に見てもらおう予定だ。最終的に桜小中の意見も取り入れて12月末に原稿を確定させる。

よって、集まっていたのは今日で最後としたいが、2月1日の小中一貫教育サミットで表現力について説明する際に、若干お願いすることがあるかもしれない。

部長

終わってしまったからの感想で申し訳ないが、本部会では言語コミュニケーションを中心に発信することに焦点を絞って書いてきた。しかしそれは実際の表現力やコミュニケーションの場面のほんの一部分で、他の部分もすごく重要なことだと思う。言葉にならない伝える力や思

いなどについてもどこかに書きたいと感じている。指導者が基本的に押さえておかなければならない部分を押さえてから、この実践例が始まるといいなと思った。私には無理なのでアドバイザーに書いてもらうしかないと思うが、そういうスペースはないのか。

事務局

確認はするが、いまは答えられない。

アドバイザー

私を書くかどうかは別にして、そういうものはあったほうがいい。

事務局

あったほうが確かに分かりやすいので、相談してそういうスペースを用意したいと思う。

部長

これが表現力やコミュニケーションの全てだと思われては、あまりに薄っぺらいと感じたので最後に申し訳なかったが発言させていただいた。ではアドバイザーからご挨拶願いたい。

アドバイザー

この部会では発信に絞ったので、どういう形で発表させるのかが大事なことだと思う。1年生から9年生まで一つの軸を通して考えた時、こういう手立てを講じれば発達段階に応じて、原稿を棒読みするだけでなく表現できるということを意識したい。

そういう意味では9年生の「自己表出」では2分間を完全に文章化して暗記するという前提になっているが、着地点として発表はメモをもとにという形にしてはどうかと思う。皆さんもそれぞれの学年の事例について、子どもたちに発表させる時の原稿との兼ね合い、どういう形でメモにできるかということをご検討いただきたい。

部長

力不足だったが無事に終われてうれしく思う。これにて表現力部会を終わりにしたいと思う。アドバイザーには大変お世話になりありがとうございました。

アドバイザー

皆さん大変お疲れ様でした。

[拍手]